

## 第 17 期事業報告書

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

### 1. 事業の成果

第 17 期も、多数の会員や関係団体の協力のもと、2008 年の設立時に掲げた趣旨・目的に沿って様々な事業を展開した。透明体育館きらきら／国際こども・せいねん劇場みやざき（愛称：CandY）の提携運営は 6 期目を迎え、前年に創設した「空はひろいな！～みやざき国際ダンスフェスティバル 2024」を当法人のメイン事業として位置づけ継続実施した。また、地域に根ざした創作ダンス活動が国際的にも評価され、当法人は本期に国際交流基金「地球市民賞」を受賞した。さらに、第 4 期地域文化倶楽部「踊るスポーツマンラボ」のメンバーが YOKOHAMA DANCE COLLECTION2024 新人振付家部門で最年少ファイナリストに選出され、国内外のダンス関係者の注目を集めた。

### 2-1. 【劇場部門】

👉👉 フェスティバル《当法人メイン主催事業》（宮崎市民活動支援補助金採択事業）

- 第 2 回「空はひろいな！みやざき国際ダンスフェスティバル 2024」の開催

👉👉 ダンス公演

- 「いろいろいろいろおめでとう」公演の開催
- 第 3 回地域文化倶楽部「CandY 文化祭」の開催
- 「ムーブメント・アート・インみやざき 2025」スクールダンスコンクール 開催 & メタバース生配信《協力事業》

👉👉 ワークショップ・トレーニング・研修

- 地域文化倶楽部（イマジネーションダンスクラブ（全 22 回）、メタバースクラブ（全 13 回）、踊るスポーツマンラボ（全 12 回））
- ここほれワンワンキッズデザインプロジェクト（全 8 回）
- こども Can トレ（全 8 回）、早朝スロージョギング（全 3 回）
- んまつーポストとトレーニングする「夜 Can トレ」（全 101 回）
- 幼稚園ワークショップ（あおぞら幼稚園、桜ヶ丘幼稚園）
- 「まちビルド」（the TRADING CITY 研究会）イベント（全 3 回）《協力事業》
- きらきらアートこども園 きらきらんまつーポスの時間（全 20 回）《協力事業》
- 宮崎県女子体育連盟ダンスセミナー（全 2 回）《協力事業》

👉👉 その他

- きらきらアートこども園行事協力《協力事業》
- 視察者の受け入れ《自主事業》  
※坂本善三美術館、宮崎県立芸術劇場、宮崎県国スポ・障スポ準備課、宮崎県スポーツ指導センター、川南町文化ホール、米良電機産業株式会社、宮崎大学、国際交流基金、株式会社九州コミュニティーカレッジ、豊岡演劇祭、他
- 貸館事業  
※野々村吏美バレエスクール、ロクディムりよーちゃん即興の旅「たんぽぽプロジェクト」、the TRADING CITY 研究会「まちビルド」

👉 劇場年間来場者数：約 3726 名（子ども 2460 名、大人 1266 名）

## 2-2.【産学・地域連携事業部門】

### 👉👉 主な事業

- 令和6年度文化芸術による子供育成総合事業—コミュニケーション能力向上事業—  
〈NPO 提案型〉／実施校：11校（西都市：都於郡小、茶臼原小、三財小、三納小、妻南小、妻北小、妻中学校、宮崎市：生目台東小、七野小、五ヶ瀬町：五ヶ瀬中等、都城市：夏尾小）
- 令和6年度文化芸術による子供育成総合事業文化芸術による子供育成総合事業—芸術家派遣事業—〈学校申請型〉／実施校：21校《申請時コーディネーター、報告書作成》（内新規実施校：6校、都城西小、沖水小、細野小、るびなす支援学校、伊形小、くろしお支援、穂北小、都於郡中、三納中、光が丘第八小、早水小（東京都）、北斗中、東部中（北海道））
- 学校教員向け創作ダンス研修（校内研修・地域研修）  
北海道北広島市内保健体育教員研修、宮崎大学附属小
- 学校でコンテンポラリーダンス鑑賞教室（妻南小、唐瀬原中、榎原中）
- 学校でワークショップ（宮崎大学附属小、日向学院中、お茶の水女子大学附属中）
- 幼稚園ワークショップ（宮崎大学附属幼稚園、あおぞら幼稚園、桜ヶ丘幼稚園）
- 川南町文化ホール「アート遠足」の実施（川南小、東小）《協力事業》
- 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポに向けて、イメージングソングダンスの振付及び周知活動《協力事業》
- パープルリボンキャンペーン2024への参画《協力事業》

## 2-3.【国際連携事業部門】

### 👉👉

- **2024年度国際交流基金地球市民賞 ☆宮崎県初**

選考のプロセス：

推薦・応募→書類選考→第一次選考→現地調査→第二次選考→受賞団体決定・発表

## 3.【受賞・研究・メディア掲載】

### 👉👉 受賞

- 2024年度国際交流基金地球市民賞受賞
- 踊るスポーツマンラボ受講生（片山鉄生他）のYOKOHAMA DANCE COLLECTION 2025コンペティションIIファイナリスト選出

### 👉👉 研究

- 宮崎大学 研究・産学地域連携推進機構 第31回技術・研究発表交流会 「地域活性化を促進する国際プロジェクトの社会的投資～みやざき国際ダンスフェスティバル2024～」
- 第76回舞踊学会大会「ダンスと共に歳を重ねることで、社会における身体表現の価値を再認識する研究」

### 👉👉 メディア掲載

- 宮崎日日新聞、MRT宮崎放送、TBS系列、タウンみやざき等の各種メディア掲載、NHK宮崎放送

#### 4. 総括

第 17 期の特筆すべき事業として、劇場事業部門、産学・地域連携事業部門、国際連携事業部門ごとに総括する。

##### <劇場事業部門>

###### 👉フェスティバル

「空はひろいな！みやざき国際ダンスフェスティバル」が第 2 回を迎え、海外からのアーティスト招聘による多国籍な作品上演を実現し、地域にしながら世界水準のダンス体験ができる場を提供した。また、海外よりディレクターに参加いただくことで、国際的なネットワークとの連携が生まれ、本フェスティバルの発信力と認知度の向上に寄与した。地域に根ざしながらも世界とつながるこのフェスティバルは、多様な背景を持つ人々の交流を促し、宮崎の文化的価値を内外に広く届ける重要な機会となっている。今後も、アジアを含む世界のフェスティバルとの協働を深め、宮崎発の創造的拠点としての可能性をさらに拓いていきたい。

###### 👉地域文化倶楽部

地域文化倶楽部においても、踊るスポーツマンラボの受講生が YOKOHAMA DANCE COLLECTION 2025 のファイナリストに選出され、継続的な育成活動の成果が顕著に表れたことは特筆すべきである。

##### <産学・地域連携事業部門>

###### 👉文化芸術による子供育成総合事業

文化芸術による子供育成総合事業への関与を継続し、学校申請方式においては、継続申請が不可となるなど厳しい選定条件の中でも、多くの宮崎県内の学校への支援を実現できた。また、新たに「令和 6 年度コミュニケーション能力向上事業（NPO 法人等提案型）」では、申請時に掲げた再編や統合が予定されている学校や、広域から児童生徒が通う学校における教育課題の解決に資する活動内容が評価され、採択につながった。当該地区の教育課題に対し、効果的な事業として展開できたことは、教育委員会や学校と長年築き上げてきた連携の成果である。

###### 👉アート遠足の実施

コロナ禍以前は学校や公共文化施設等からの依頼で実施してきたが、川南町文化ホールからの依頼で、川南小学校、東小学校の 2 校合同で実施する事ができた。「アート遠足」は、種々の事情から学校行事の鑑賞教室の実施が困難になりつつある現在、その鑑賞教室に代わるような芸術による圧倒的な体験を子供たちに保証するプログラムであり、「アート遠足」を実施するためには、子供たちの身近な公共文化施設と、地域を拠点に活動を拓く若い芸術家との理解・協力が不可欠な事業(平成 28 年度科学研究費補助金事業)高橋るみ子(宮崎大学教育学部准教授/舞踊教育学)である。コロナ禍後の文化的活動の再起動において象徴的な出来事であり、次年度以降も公共文化施設や若手芸術家の理解・協力を仰ぎ、実施を拡大していきたい。

#### 👉 学校でコンテンポラリーダンス鑑賞教室

前年度の福島県でのコンテンポラリーダンス鑑賞教室実施に引き続き、今年度は京都府の宇治市立岡屋小学校で実施ができ、コロナ禍後の文化的活動の再起動において象徴的な出来事であり、当法人のネットワークが全国規模で機能する可能性が示唆される。県内での本年度は西都市立妻南小学校と川南町立唐瀬原中学校で実施でき、県内での広がりもあった。

#### 👉 日本のひなた宮崎 国スポ・障スポイメージングソングダンスの振付及び周知活動

「日本のひなた宮崎 国スポ・障スポイメージングソングダンス」は、当法人メンバーが振付を担当し、当該年度に向けて気運を高める宮崎県の事業に協力した。楽曲に合わせた明るく親しみやすい振付のほか、市町村ごとに実施される競技をテーマにした創作ダンスパートも設定し、地域ごとの特色を反映させた。取り組みは地域の一体感を促し、スポーツと文化の融合を象徴するものとして高く評価された結果、次年度以降も普及活動の依頼を受けることとなった。

### <国際連携事業部門>

#### 👉 令和6年度日本型教育の海外展開（EDU-Port ニッポン）応援プロジェクト

では、EDU-Port ニッポンプロジェクトのパートナーとしての継続参画に加え、リトアニアや香港での公演を通じて、地域発のダンスが国際的に評価される事例を創出した。とりわけ、一般社団法人 namstrops と連携した「シン・SOUSAKU-DANCE」は、国内外の教育現場で活用される新たな実践モデルとして確立しつつある。

#### 👉 2024年度「地球市民賞」を受賞

当法人は2024年度「地球市民賞」を受賞した。これは、創造的なダンスを通じた国際交流と地域活性化の両立を図る当法人の取組が、全国的にも高く評価された証左である。授賞式では代表理事が「宮崎を創作ダンスの聖地に」とのビジョンを掲げ、今後のさらなる展開に向けた意志を示した。

### <おわりに>

第17期は、当法人の活動理念である「地域に根差しながらも世界と接続する」というビジョンが大きく前進した一年となった。劇場部門では、国際ダンスフェスティバルをはじめとする多様な公演やワークショップを通じ、地域にしながら世界水準のダンス体験を届けることができた。産学・地域連携事業では、文化芸術による子供育成総合事業への支援を堅実に続ける一方で、新たに「令和6年度コミュニケーション能力向上事業（NPO法人等提案型）」が採択され、教育課題の解決を図る地域密着型プログラムとして成果を上げた。また、コロナ禍で一時的に減少していた活動等も再起動し、新しい社会状況に合わせた活動の展開を進め、「アート遠足」や鑑賞教室の拡大を通じて、文化芸術を子どもたちの身近な学びに浸透させる活動も着実に進展した。国際連携事業では、EDU-Port ニッポンプロジェクト

ト参画や海外招聘公演を通じ、宮崎発の創作ダンスが世界に通用する価値を示し、その成果として国際交流基金「地球市民賞」の受賞に結びついた。これらの取り組みは、メディアや学術領域からの注目も集め、地域の子どもたちをはじめ多くの人々に新しい芸術体験の場を提供した。当法人は、この一年間の成果を礎に、次年度以降も「からだをひらき、こころをひらく」創作ダンスの可能性をさらに深め、地域と世界を繋ぐ活動を一層推進していきたい。